

村田 俊一(ムラタ シュンイチ)

国連開発計画(UNDP)駐日代表

学歴

関西学院大学法学部政治学科卒業。米国ジョージワシントン大学院修士課程(国際政治経済)及び同大学院博士課程修了(リサーチデザイン、計量政治経済、東南アジア諸国連合専攻)。その後米国ハーバード大学大学院ケネディスクール管理職特設プログラム修士課程修了(組織管理学専攻)

職歴

国連開発計画からウガンダ、エチオピア、スーダン、中国、モンゴル、フィリピン等の各常駐代表事務所での勤務を経て1999年4月よりブータン常駐代表兼国連常駐調整官。ブータン政府の行政改革主席顧問も務める。2002年関西学院大学総合政策学部教授に就任。2004年より同大学国際開発戦略リサーチセンター長を兼任。専門は途上国の紛争問題とそれに関連する援助政策。2006年11月、UNDP駐日代表に就任。2007年3月より外務省「国際協力に関する有識者会議」委員、2007年8月より同省「平和構築分野の人材育成に関する有識者諮問会議」委員を務める。